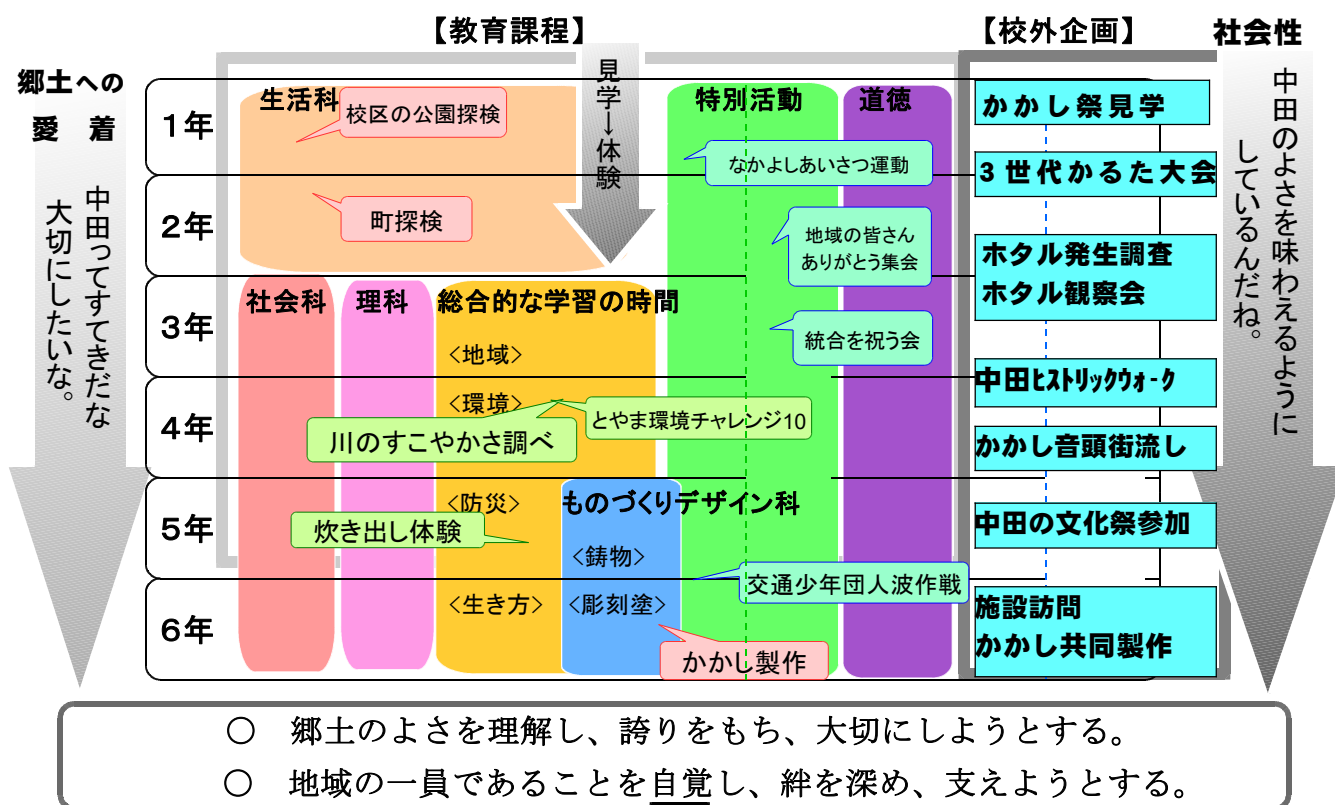


# 地域・保護者・学校が連携して推進するふるさと教育

本校は、「郷土のよさを体感する活動を通して、郷土に誇りをもち、社会の形成者として必要となる基本的な資質を培う」というねらいで、ふるさと教育を教育課程に位置付けている。地域でも、「中田の子供は、中田で育てる」という思いが根付いており、多くの学習活動が地域の方の協力で、毎年行われている。

<教育活動全体の「ふるさと教育」ステージイメージ>



## 自己のよりよい生き方

### 活動1 かかし祭

中田地区の代表的な行事「かかし祭」には、全校児童が関わる。地域の方の行事の成功を願っての思いや行為から「中田地域ってすてきな。大切にしていきたいな」という思いを改めてもつことができた。

<1～3年生> かかし祭を見学する。

<4年生>

かかし祭で踊る  
かかし音頭を教  
えてもらい、は  
っぴを準備して  
いただいて街流



地域の方に教えてもらう



かかし祭で踊る

しに参加する。

### < 5、6 年生 >

6 年生は、中田小学校の代表として、かかしを製作し、出品する。テーマは自分たちで決める。つくりたいものを完成させるには、材料集めからデザインを決めて完成させるまでとても大変である。困ったときには地域の方に相談し、協力していただいて、完成させることができた。

また、教えていただいたことを基に、5、6 年生は、地域にある障害者支援施設のかかし製作の手伝いをした。地域の方に教えていただいたことを地域にお返しする活動となった。



地域の方に教えてもらう



かかしを雨から守ろう

### < 6 年生 > かかし製作を体験して

地域の方の協力もあって今年も「優賞」をいただきました。でも、かかしづくりは、思ったより大変でした。地域の方に、材料の準備やつくり方等のお世話をしていただいてようやくできました。

志貴野ホームでも、かかしを製作するので、手伝いに行きました。中田地区に関係のあるいろいろな人たちがかかしをつくるのだと思いました。かかしをつくることで施設の方と触れあうことができました。かかし祭を通して、多くの方と触れあうことができました。私も地域の一員となり、中田地区がもっと豊かになるようにしていきたいと思いました。



優賞だった作品とともに

## 活動 2

### 地域全体で取り組むホタル発生調査・ホタル観察会



中田地区が、ホタルの生息地として富山県の天然記念物の指定を受けて 50 年余の月日が経っている。中田地区記念物保存会では、ホタルの発生調査や観察会を企画することを通して、地域全体でホタルを守ろうという意識を高めようとしている。毎年、多くの親子が、この企画に参加している。

3 年生は、総合的な学習の時間に「中田の

お宝発見！」を発表したが、ホタルのことを詳しく調べている子供が多かった。



### ＜3年生＞「中田のお宝発見！」を発表して

ぼくは、ホタルの生息分布状況一斉調査をした人のホタルのことが心に残りました。多いところ（下麻生）で千びきぐらいいるそうで、すごいなあと思いました。また、旧六ヶ用水にもホタルは多いそうです。ぼくは、ホタルを大切にしていきたいです。そして、大人になっても中田の宝であって欲しいです。

## 活動3 中田ヒストリックウォーク

中田ヒストリックウォークは、中田地区に興味と愛着をもってもらえるように、校区内を散策しながら歴史を感じてもらうPTA行事である。毎年、違うコースを企画するため、多くの親子が参加し中田地区のよいところを改めて知るよい機会となっている。

### ＜5年生＞ヒストリックウォークに参加して

貞杉社は、今まであんまり目立たない普通の神社だと思っていました。でも、天皇から「中田」という名前をいただいたという話を聞いて、すごい神社だとびっくりしました。また、昔は中田橋がなく、橋を架けるのに大変だったという話を聞き、中田の人は、自分たちの生活をよくしようと頑張っていたのだと分かりました。



ヒストリックウォークのパンフレット



桓武天皇ゆかりの貞杉社

## 活動4 3世代交流かるた大会

中田地区には、中田の先人の努力と伝統、自然の豊かさを引き継ぐことができるようにと婦人会の方が作成した「中田あしつきかるた」がある。

2年生は、地区のコミュニティーセンターで開かれるこのかるたの大会に毎年参加する。地域の方にあしつきかるたを教えてもらい交流をする。また、読み札に書かれた地区のよさに興味をもった後、校外学習でその場所を見学した。



あしつきかるた



地域の方に教えてもらう

### ＜2年生＞「見学！中田が誇れるところ」

3世代かるた大会に関係のある「かち粉の洞窟」と「混放洞」に行きました。「かち粉の洞窟」へ入ったら、外は、暑かったのに、洞窟の中は、ひんやりとしていました。とても大きくて長い洞窟でした。これを手で掘ったと聞いてすごいなあと思いました。洞窟の中に、コウモリがいたので、びっくりしました。「混放洞」は、昔の学校だと分かりました。勉強をするのに、机をかついできたと聞いて、びっくりしました。



かち粉の洞窟

### 活動5 水辺のすこやかさ調べ

毎年、4年生が中田地区の4つの河川の水の透視度や生き物等を調べることを通して、よりよい自然・水環境を守るためにできることを考える学習をしている。

### ＜4年生＞「水辺のすこやか調べ」

環の会の方と一緒に水の透明度を調べた。清水川の水がとてもきれいで、梅花藻を初めて見ることができた。きれいな水の所にしか生えない藻であるらしい。パックテストをしたら、ピンク色になってとてもきれいだと分かった。透視度計を見ても、はっきりと印が見えたので、すごいと思った。やっぱりきれいだなと思うとうれしかった。



川の生き物を探す子供

### 活動6 地域の一員となって「炊き出し体験」「中田の文化祭出演」

5年生は、地域の人のための行事に参加し、地区の人の深い関わりを実感している。

### ＜5年生＞「炊き出し体験」



地域の人と炊き出し体験をしました。私は、災害時には協力して何でもしなければならぬことが分かりました。炊き出し体験で食べたごはんは、たくさんの人で助け合わなければできないからです。もし、災害が起きたら、進んで炊き出しを協力したいです。災害が起きても、元気に過ごせるようにしたいです。



合唱を発表する子供たち

### まとめ

本校のふるさと教育は、地域行事との関連が多く、地域のよさとともにそれを受け継ごうとする地域の方の思いに触れることができる。そのおかげで、子供たちは、地域のよさを再認識することができ、地域社会が支え合っていることも実感できたと思う。活動に参加するだけでなく、地域に誇りをもち、大切に守ろうと、地域の一員として絆を深めて支え合う子供を育てたい。また、ふるさと教育を通じて、よりよい生き方に繋がるよう今後も実践していきたい。